

定例記者会見資料



○日 時	平成 28 年 1 月 13 日（水） 13 時 30 分～
○会 場	島根県立大学 本部棟 2 階 特別応接室
○会見者	本田雄一 理事長・学長
○会見項目	<p>【3 キャンパス共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学 COC 事業「第 3 回全域フォーラム」の開催について …… [資料 1] <p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根県立大学「2016 年 冬期日本語・日本文化研修」の実施について …… [資料 2] ・平成 27 年度「フレッシュマン・フィールド・セミナー合同成果発表会」の開催について …… [資料 3]
○資料提供項目	<p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・島根県立大学における平成 28 年度大学入学者選抜大学入試センター試験の実施及び取材について …… [資料 4] ・島根県立大学総合政策学会特別講演会の開催について …… [資料 5] ・平成 27 年度 優秀卒業研究発表会の開催について …… [資料 6] ・NEAR センター市民研究員 第 2 回全体会（市民研究員研究発表会）の開催について …… [資料 7] <p>【松江キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JENESYS2015 日本大学生訪問団（第 2 回）について …… [資料 8]
○行事予定	<p>〔入試等〕</p> <p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学入試センター試験（試験会場） …… 1 月 16 日（土）～17 日（日） ・総合政策学部自己推薦入試合格発表 …… 2 月 10 日（水） <p>【出雲キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護学部私費外国人留学生入試 …… 1 月 26 日（火） ・看護学部推薦入試・私費外国人留学生入試合格発表 …… 2 月 8 日（月） <p>【松江キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜（総合文化学科Ⅱ日程） …… 1 月 23 日（土） ・一般選抜（総合文化学科Ⅱ日程）合格発表 …… 2 月 5 日（金） ・一般選抜（健康栄養学科・保育学科） …… 2 月 13 日（土） ・一般選抜（総合文化学科Ⅰ日程） …… 2 月 13 日（土）～14 日（日）

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。
 なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 企画調整室 TEL 0855-24-2201
 出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200
 松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525

島根県立大学
 マスコット
 キャラクター
 オロリン



※次回の定例記者会見は 平成 28 年 2 月 10 日（水）13:30 から開催予定です。

大学 COC 事業「第 3 回全域フォーラム」の開催について

本学では平成 25 年度より文部科学省「地（知）の拠点整備事業」にて、「地域と大学の共育・共創・共生に向けた縁結びプラットフォーム」事業に取り組んでおります。

この度、下記及びチラシ（別添）により、平成 27 年度の成果報告会となります「第 3 回全域フォーラム」を、下記のとおり開催いたします。

なお、今回は、浜田市・益田市と島根県立大学の共同研究の成果報告、ならびに浜田キャンパス学生研究発表会も併せて開催いたします。

記

- 1 日時 平成 28 年 2 月 16 日(火) 9:30～
- 2 会場 島根県立大学浜田キャンパス 講義研究棟 1 階 大講義室 1 ほか
- 3 内容
 - ・ 別紙のとおりとさせていただきます。
※発表順等当日スケジュールの詳細について、変更される場合があります。ご了承ください。
 - ・ 今年度は、午前の部の浜田市・益田市と島根県立大学の共同研究報告会を、分野別形式で実施いたします。また、午後の部は COC 事業の研究費である「しまね地域共育・共創研究助成金」の成果報告会と毎年秋学期に実施する、浜田キャンパス学生研究発表会を併催し、同じく分野別に発表させていただきます。
 - ・ ご興味のあるセッションにご参加くださいますようお願いいたします。

平成 27 年度 島根県立大学「地(知)の拠点整備事業」成果報告会

入場
無料

第3回 全域フォーラム

本学では平成 25 年度より文部科学省「地(知)の拠点整備事業」にて、「地域と大学の共育・共創・共生に向けた縁結びプラットフォーム」事業に取り組んでおります。

この度、平成 27 年度の成果報告会となります「第 3 回全域フォーラム」を開催いたします。

今年度は会場を分野に分けて開催します。多くの皆様のご来学をお待ちしております。

日時

平成 28 年 **2 月 16 日(火)** 9:30~ (開場 9:00)

プログラム

※発表順序プログラムは、変更する場合があります。ご了承ください。
入退場は自由です。個別スケジュールは裏面へ記載しています。

■ 理事長挨拶、浜田市長挨拶、益田市長挨拶

(9:30~@大講義室 1)

■ 浜田市・益田市と 島根県立大学の共同研究報告会

(9:55~@中講義室 3・4・5)

■ 基調講演

(13:00~@大講義室 1)



「地域と大学：共生のために今すべきこと」

講師 濱崎 一志 氏

滋賀県立大学 理事・副学長
地域共生センター長

■ しまね地域共育・共創研究の成果報告会 学生研究発表会 (浜田キャンパス)

(14:40~@中講義室 4・5)

★ しまね地域共育・共創研究の成果をまとめたポスター展示を
同時開催します (@講義・研究棟 1 階エントランスホール)

会場

島根県立大学
浜田キャンパス
(島根県浜田市野原町 2433-2)

講義・研究棟 1 階
大講義室 1
中講義室 3・4・5

ご興味・関心のあるセッションに奮ってご参加ください。



マスコットキャラクター「オロリン」

ご参加いただける場合は、メールもしくは FAX にて下記 4 点を必ず記載の上、**2月10日(水)まで**に

下記までご連絡ください(様式は任意で結構です)。なお、お申込みが無くても当日の参加は可能です。

I. 団体名 II. 代表者名・連絡先(住所・電話・メール) III. 参加者名(ご所属・ご役職)
IV. 参加したいセッションナンバー(①~⑨) ※裏面表参照。複数回答可)

【ご連絡・お問い合わせ先】

〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2 島根県立大学 浜田キャンパス 地域連携課

TEL 0855-24-2396 FAX 0855-23-7352 メール tiiki@admin.u-shimane.ac.jp

～基調講演～



講師：濱崎一志氏（滋賀県立大学 理事・副学長 地域共生センター長） 略歴

京都大学大学院工学研究科修士課程修了。京都大学工学部助手、滋賀県立大学助教授、同教授をへて、平成 27 年度より現職。

海外ではイラク・ハムリン盆地の紀元前 3000 年頃の円形神殿や、パキスタン・ガンダーラの仏教寺院址、シリア・パルミラの紀元後 2 世紀頃の地下墓や塔墓などの遺跡の発掘調査と復元研究を進めてきた。国内では民家や町なみ、文化的景観の調査を続け、その保存と活用の方法を模索している。最近 は空き家となった古民家の保存・活用や廃村の保存・活用を地域貢献のひとつとらえ、学生とともに取り組んでいる。

～浜田市・益田市と島根県立大学の共同研究報告会～

今年度、浜田市ならびに益田市と島根県立大学が行った、共同研究事業の成果報告を

「商品開発」、「教育」、「観光」、「人口問題」、「交流人口拡大」の 5 分野に分けて報告します。

SESSION①「商品開発」 SESSION②「教育」

会場 中講義室 5	9:55	浜田市共同研究発表	久保田 典男准教授
	～10:25	「大学生とコラボした水産加工製品の開発」 ～大学文系学部が中小企業の製品開発に果たす役割とは～	(浜田キャンパス)
	10:25	浜田市共同研究発表	田中 恭子准教授
	～10:55	「地元の食を再考する「まち弁」企画」 –イカを活用した付加価値創造–	(浜田キャンパス)
	10:55	益田市共同研究発表	山下 由紀恵教授 (松江キャンパス)
	～11:25	「Web シーズマップを利用したふるさと教育連携」	檜谷 邦茂 嘱託研究員 (島根県中山間地域研究センター)

SESSION③「観光」

会場 中講義室 4	9:55	浜田市共同研究発表	ケイン・エレナ准教授
	～10:25	「石見トラベルガイドの継続」	(浜田キャンパス)
	10:25	益田市共同研究発表	西藤 真一准教授
	～10:55	「石見空港の観光利用客のニーズに対応した二次交通の提案」	(浜田キャンパス)
	10:55	浜田市共同研究発表	西藤 真一准教授
	～11:25	「浜田市の観光イメージ調査」	(浜田キャンパス)

SESSION④「人口問題」 SESSION⑤「交流人口拡大」

会場 中講義室 3	9:55	益田市共同研究発表	藤原 眞砂教授
	～10:25	「少子高齢化時代の益田市の若者の転出抑制策と少子化対策」	(浜田キャンパス)
	10:25	浜田市共同研究発表	藤原 眞砂教授
	～10:55	「浜田の特産品、地産地消、温泉観光(含む合宿所観光)に基づく浜田市の中山間地域の活性化計画」	(浜田キャンパス)
	10:55	益田市共同研究発表	林 秀司教授
	～11:25	「益田市における体験教育旅行受け入れによる交流人口拡大」	(浜田キャンパス)

～しまね地域共育・共創研究の成果報告会・学生研究発表会～

県内の諸課題に対応した 3 キャンパスの教員の研究成果と、浜田キャンパス学生の地域課題に対する日頃の研究成果を、

「観光振興」、「雇用」、「人材育成」、「地域資源」の 4 分野に分けて発表します。

SESSION⑥「観光振興」 SESSION⑦「雇用」 SESSION⑧「人材育成」

会場 中講義室 5	14:40	「松江市の観光振興に向けた取組み」	工藤 泰子准教授 (松江キャンパス)
	～15:10	–地域志向科目における実践–	佐々木 麻衣 (総合文化学科 2 年)
	15:10	「石見地方における企業の人材確保に関する基礎的研究」	林 秀司教授
	～15:40		(浜田キャンパス)
	15:40	「リーダーシップの養成」	マニング・クレイグ講師
	～16:10		(浜田キャンパス)

SESSION⑨「地域資源」

会場 中講義室 4	14:40	「地域住民の健康増進活動を促進する温泉施設の活用と活性化に向けた取り組み」	林 健司助教
	～15:10	～温泉地しまねの特性を活かして～	(出雲キャンパス)
	15:10	「邑南町における稲作の 5 次産業化に関する研究」	豊田 知世講師
	～15:40		(浜田キャンパス)
	15:40	「伝統的工芸品 石見焼の販売促進」 ※学生研究発表会として開催	生田 泰亮准教授
	～16:10		(浜田キャンパス)

平成 28 年 1 月 13 日
島根県立大学
国際交流 無津呂・大畑
電話：0855-25-9063

島根県立大学「2016 年 冬期日本語・日本文化研修」の実施について

【冬期研修の概要】

- 目的：・世界各国から日本語学習者を集め、本学の学生、島根県の地域住民との交流を通して、体験的に日本語、日本社会、文化を学ぶこと
・本学への長期留学の動機付けにつなげること

期間：平成 28 年 1 月 26 日（火）～ 2 月 13 日（土）約 3 週間

* 宿泊は本学交流センターゲストルーム 及び しまね国際研修館(松江市内)

対象者：本学の交流協定校からの推薦を受けた学生のほか、日本国外の大学の正規課程に在籍し、一定の日本語レベルを有する学生

日本語レベル：

中級後半～上級前半レベル（日本語能力検定試験 N2 程度）

（日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる）

【参加者】

- 参加者は、海外の交流協定校から推薦のあった 10 名の学生です。

蔚山^{うるさん}大学校（韓国蔚山市） 3 名

安徽^{あんきぎいけい}財経大学（中国安徽省） 2 名

華僑^{かきょう}大学（中国福建省） 2 名

国立台^{たいちゅうかぎ}中科技大学（台湾台中市） 3 名

合計 4 大学 10 名

【内容】

- 日本語研修と日本文化体験のほか、学部授業を在籍学生と共に受講する講義体験
- 学生サークルへの参加や国際交流会館(留学生寮)での交流会
- 石見神楽鑑賞と神楽講義、紙漉き体験など、地域文化の学習（講師は本学教員、及び外部講師が担当）
- 松江市内での研修、出雲キャンパス、松江キャンパス学生との交流
- 浜田市内コミュニティスペース「こんちゃ」にて、地域住民との交流イベントを実施（2/2）
- 益田高等学校を訪問し、1, 2 年生の「国際理解教育」の授業において交流活動を実施（2/9）

【資料】 別紙：【2016 年冬期日本語・日本文化研修】プログラム（案）

【2016年冬期日本語・日本文化研修】プログラム(案)

月日		スケジュール	
		午前	午後
1月25日	月		【入寮】 施設利用説明
1月26日	火	開講式・オリエンテーション ランチ交流会	日本語授業 ☆ 市内案内・買い物 歓迎会
1月27日	水	日本語授業	日本語授業 学生交流
1月28日	木	講義体験 日本語授業	☆ 視察・文化体験(アクアス)
1月29日	金	講義体験 日本語授業	日本語授業 学生交流
1月30日	土		学生交流 ☆ 神楽鑑賞
1月31日	日	(自由)	
2月1日	月	日本語授業	日本語授業
2月2日	火	日本語授業	☆ 視察・文化体験(紙すき) ☆ 市民交流(節分イベント@こんちゃ)
2月3日	水	日本文化授業(石見神楽)	日本語授業 学生交流(茶道部)
2月4日	木	日本語授業	日本語授業
2月5日	金	日本語授業	☆ 視察・文化体験(スケート) 学生交流
2月6日	土	☆ 広島視察(平和学習・お好み焼き・買い物)	
2月7日	日	(自由)	
2月8日	月	☆ 視察・文化体験(餅つき)	日本語授業
2月9日	火	☆ 益田高校訪問	☆ 益田市内視察 交流会
2月10日	水	☆ 出雲市内観光(出雲キャンパス学生参加)	
2月11日	木	松江研修(国際交流員との懇談・日本語授業等)	
2月12日	金	☆ 松江キャンパス学生交流	☆ 松江市内視察
2月13日	土	松江研修(市民交流・成果発表会・閉講式)	
2月14日	日	【松江】退寮(松江→浜田)	
2月15日	月	【浜田】退寮	帰国へ

平成 28 年 1 月 13 日
島根県立大学 浜田キャンパス
担当：地域連携課 河部
電話：0855-24-2396

平成27年度「フレッシュマン・フィールド・セミナー 合同成果発表会」の開催について

島根県立大学総合政策学部では、平成23年度より「フレッシュマン・フィールド・セミナー」を開講しており、現在、学生たちはフィールド学習の成果のとりまとめに取り組んでいるところです。このセミナーの最終プロセスである成果発表を、来たる1月28日（木）に「合同成果発表会」として、浜田キャンパス講堂にて開催します。

初年次の段階から社会に触れ、地域のさまざまな方々とも接することを通じて、自らの学習目的を明確化し、主体的に将来像を描く力をつけさせることを、このセミナーの主な目的としています。このセミナーでは、初年次生全員がクラスごとに島根県内、浜田市、近隣地域等、社会のさまざまな現場（フィールド）へ出向いていき、そこでフィールドにいらっしゃる方々への調査を通じて地域の課題を発見し、その課題の解決策を計画し、提案していきます。春学期のフレッシュマン・スキル・セミナーで学んだアカデミック・スキルを活用しながらフィールド学習をおこない、2年次から始まる専門教育への橋渡しをする役割もあります。

各現場における調査等での地元協力者の方々はもとより、広く地域に対して、学生たちが地域課題の発見・解決策の提案、およびこれらについて意見交換等も行う貴重な機会でもあります。このたびの発表会は、学生が地域課題と自分自身との具体的な関わりを築く良い機会であると同時に、地域に貢献する大学となることをめざす本学としても、地域との連携がさらに深まっていく契機ともなります。

なお、発表会はこれまで同様にポスターセッション形式で行われ、16ゼミの学生が同時に各ブースで発表をおこないます。また、来場者の投票によるコンテスト表彰もおこなわれます。

《 開催概要 》

- 日 時：平成 28 年 1 月 28 日(木) 13：10～15：30（開場は 12:50）
- 12：50 開場・受付開始
 - 13：10 開会
 - 13：20 各ゼミ冒頭概要説明
 - 13：40 各ゼミ発表開始
 - 15：00 コンテスト投票締め切り
 - 15：10 コンテスト集計結果発表・表彰
 - 15：30 閉会

○場 所：島根県立大学 浜田キャンパス 講堂

○主 催：島根県立大学 総合政策学部

○発表方法：ポスターセッション形式

ゼミごとにブースを設置し、全ゼミが一斉に各ブース内でプレゼンテーションをおこなう。参加者は自由に各ブースをまわる。

○コンテスト：来場者全員に、各3枚の「いいね！」シールと「コメントシート」を配布し、ポスター等の掲出物、プレゼンテーション、研究の内容等に対して、「いいね！」と感じたゼミを3つ選び、投票ボードに「いいね！」シールを貼り、「コメントシート」に記入の上、投函する。

○参加対象：学内外どなたでも参加可能

○申込み等：事前申込、入場料ともに不要

○発 表 者：フレッシュマン・フィールド・セミナー 16ゼミ

平成27年度 フレッシュマン・フィールド・セミナー 合同成果発表会



昨年度の合同成果発表会の様子

日時

平成28年 **1月28日(木)**
13:10~15:30 (開場12:50)

場所

島根県立大学 講堂

(浜田キャンパス)

島根県立大学では、平成 23 年度から「フレッシュマン・フィールド・セミナー」を開講し、初年次全学生がゼミごとに地域の「現場（フィールド）」へ出向いて、調査・見学等をおこなうフィールド学習を実施しています。

このセミナーの最終プロセスである「合同成果発表会」を開催し、16ゼミの学生たち全 232名が、地域の課題の発見・解決策の提案を、ポスターセッション形式でおこないます。

入場料

無料

学内略図



来場者による
コンテスト投票・表彰
もあります。ぜひ、
お越しください。

【お問い合わせ先】

〒697-0016 島根県浜田市野原町2433-2

島根県立大学 浜田キャンパス 地域連携課

TEL: 0855-24-2396 FAX: 0855-23-7352

E-mail: tiiki@admin.u-shimane.ac.jp

平成 28 年 1 月 13 日

報道担当者 土井

電話 0855-24-2200

島根県立大学における平成 28 年度大学入学者選抜 大学入試センター試験の実施及び取材について

1. 試験日程

○1月16日（土）

- ・地理歴史、公民 9：30～11：40
- ・国語 13：00～14：20
- ・外国語（筆記） 15：10～16：30
- ・英語（リスニング） 17：10～18：10

○1月17日（日）

- ・理科① 9：30～10：30
- ・数学① 11：20～12：20
- ・数学② 13：40～14：40
- ・理科② 15：30～17：40

2. 報道関係の窓口

報道関係者への対応は、本学の試験実施本部の報道担当者が行いますので、試験に関する問い合わせ等は、次の者をお願いします。

島根県立大学事務局 教育研究支援部長 土井 功造

電話番号 090-1796-8814（上記二日間のみ臨時開設電話となります。）

3. 取材の方法について

入構の際には必ず報道機関の腕章を付けてください。

(1) 前日〔1月15日〕の準備状況の取材

- ① 集合時間・場所 島根県立大学本部棟玄関ロビー 15時
- ② 取材時間 15時00分から15時20分まで（時間厳守）
- ③ 取材用試験室 当日ご案内いたします。

(2) 試験当日〔1月16日〕の取材

- ① 集合時間・場所 島根県立大学本部棟玄関ロビー 8時50分
- ② 取材時間 9時05分から9時15分まで（時間厳守）
- ③ 取材用試験室 第1試験室（大講義室1）・・・地理歴史、公民の試験

(3) 取材上の注意事項

- ① 受験者に動揺を与えないようにしてください。

- ② 受験者が特定できるような撮影は避けてください。
- ③ 取材用試験室以外への立ち入りはしないでください。
- ④ 指定した場所以外での敷地内取材はお控えください。

(4) 不測の事態発生時の取材

不測の事態が発生して試験時間が繰り下げられた場合なども、報道担当者から連絡しますので、指示に従って取材してください。

4. 問題冊子の配付及び正解の発表

(1) 問題冊子及び解答用紙は、各試験時間終了後に配付します。

① 場所 島根県立大学本部棟事務局窓口

② 配付時間

第1日 1月16日(土)	地理歴史、公民 11:40以降	国語 14:20以降	外国語(筆記) 16:30以降	英語(リスニング) 18:10以降
第2日 1月17日(日)	理科① 10:30以降	数学① 12:20以降	数学② 14:40以降	理科② 17:40以降

(注) 試験時間繰り下げの場合は、配付時間が変更されます。

(2) 正解及び配点の発表

正解及び配点は、大学入試センターが配付するとともに、ホームページを通じて、大学入試センターが速やかに発表します。

(3) 英語リスニングの問題音声及びスクリプトの発表

英語リスニングの問題音声及びスクリプトについては、リスニングテスト終了後、大学入試センターの公式ホームページを通じて発表します。

5. 受験状況の発表

受験状況の発表は、島根県立大学試験実施本部(報道担当者)が、次の時刻に島根県庁記者クラブ及び浜田記者クラブ加盟の各社に対し、直接FAXにより行います。

○1月16日(土) 13:20以降・・・地理歴史、公民の受験状況

18:20以降・・・16日に実施した全教科の受験状況

○1月17日(日) 17:55以降・・・17日に実施した全教科の受験状況

(注) 試験時間繰り下げの場合は、発表時間が変更になります。

(参考)

志願者数の推移

区分	平成28年度	平成27年度	平成26年度
全国	563,765人	559,132人	560,672人
うち島根県	2,987人	3,100人	3,208人
うち県立大学会場	648人	741人	703人

平成 28 年 1 月 13 日

島根県立大学浜田キャンパス

担当者：企画調整室 福間・松島

電話：0855-24-2201

島根県立大学総合政策学会特別講演会の開催について

島根県立大学総合政策学会では、各界の第一線で活躍されている文化人、経済人等を講師に迎え、教員・学生はもとより地域住民の皆様を対象に講演会を開催しております。

今回は下記のとおり、「エネルギー情勢の変貌と日本の選択」をテーマに笹川平和財団顧問（前理事長）高木 雄次（たかぎ ゆうじ）氏をお迎えして開催いたします。

記

- 講 師 笹川平和財団顧問（前理事長） 高木雄次氏
- 演 題 「エネルギー情勢の変貌と日本の選択」
- 日 時 平成 28 年 1 月 29 日（金） 14 時 50 分～16 時 20 分まで
- 会 場 島根県立大学 講堂

◇【講師プロフィール】

専門はエネルギー・環境問題。1973 年一橋大学卒、三井物産に在職 35 年、エネルギー部門を歩み、ビジネスの最前線で活躍、その間、米国に 14 年、中東に 4 年、通算で 18 年の海外勤務など多彩な経験を持つ。三井物産では米国ワシントン事務所長、中東地域代表等を歴任し、世界を舞台にした実業を基軸にエネルギー政策、環境ビジネスと米国、中東を含む世界の政治経済情勢に精通する。笹川平和財団では、国際社会が抱えるグローバルな課題を創造的に解決することを目指して多様な国際交流事業を展開。2011 年から理事長、2015 年より現職。

※入場は無料です。

島根県立大学総合政策学会は、総合政策学に関わる研究、発表及びその他本学設立の趣旨にかなう幅広い分野に関する研究活動並びに内外の学者、研究者等を招待した研修とその報告活動を目的としており、本学の教員、学生を主な会員としています。

年 2 回特別講演会の開催を行うほか、「総合政策論叢」の発刊、学生表彰などの活動を行っております。

島根県立大学総合政策学会 第29回特別講演会

講師
笹川平和財団顧問(前理事長)

高木 雄次 氏



演題：

「エネルギー情勢の変貌と 日本の選択」

シェール革命の進展や原油価格の下落、そして福島
原発事故といったエネルギー問題に翻弄され続ける日本。
これからの日本のエネルギー政策が進むべき道を問う。

日時：2016年1月29日(金)

14時50分から16時20分まで

会場：島根県立大学 講堂

【講師プロフィール】

専門はエネルギー・環境問題。1973年一橋大学卒、三井物産に在職35年、エネルギー部門を歩み、ビジネスの最前線で活躍、その間、米国に14年、中東に4年、通算で18年の海外勤務など多彩な経験を持つ。三井物産では米国ワシントン事務所長、中東地域代表等を歴任し、世界を舞台にした実業を基軸にエネルギー政策、環境ビジネスと米国、中東を含む世界の政治経済情勢に精通する。笹川平和財団では、国際社会が抱えるグローバルな課題を創造的に解決することを目指して多様な国際交流事業を展開。2011年から理事長、2015年より現職。

※入場無料

※多くの皆様のご来学をお待ちしております。

問い合わせ先：

島根県立大学 事務局企画調整室 福間・松島

〒697-0016 浜田市野原町2433-2 TEL:0855-24-2201

平成27年度 優秀卒業研究発表会

学生たちの4年間の学修成果を、学生・教職員のほか、平素より
本学におけるご支援をいただいている地域の方々にご披見するため
「優秀卒業研究発表会」を開催いたします。

日時：平成28年1月27日（水）13：10～14：40

場所：浜田キャンパス 講義棟 大講義室2

主催：島根県立大学優秀卒業研究発表会実施特別委員会

事前申込不要、参加無料です

どなたでも、ご参加いただけます



平成 28 年 1 月 5 日

島根県立大学浜田キャンパス

担当：佐藤壮（総合政策学部）

中村智紗（企画調整室）

電話：0855-24-2337（佐藤）

0855-24-2201（企画調整室）

NEAR センター市民研究員 第 2 回全体会（市民研究員研究発表会）の開催について

1. 目的

島根県立大学北東アジア地域研究センター（NEAR センター）では、市民研究員登録制度を通じて、北東アジアや国内の地方・地域の諸問題に関心をお持ちの市民の方々の幅広いご見識・ご経験を、NEAR センター研究員・大学院生と共有しております。

このたび、平成 27（2015）年度 NEAR センター市民研究員第 2 回全体会を開催し、市民研究員の方々が日頃の研究・勉強会の成果報告をおこないます。また、留学生への日本の伝統文化紹介を兼ねて、餅つき会もおこないます。

2. 日時

2016 年 1 月 30 日（土）

餅つき会：準備開始 午前 9 時、餅つき開始 午前 9 時 30 分ごろ

*餅つき会ご参加の方々におかれましては、当日カンパを頂戴しております。

第 2 回全体会：午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分（終了時刻は予定）

3. 場所

島根県立大学浜田キャンパス 交流センター 2 階 コンベンションホール

4. 主催者

島根県立大学北東アジア地域研究センター（NEAR センター）

5. 内容

NEAR センター市民研究員による研究報告（報告者は 1 月 25 日に確定）

（参考 昨年の内容）

- ・田中 文也 氏「北東アジアレベルの国際交流と日本国家創造期の解明を目指して～国内の枠組み造りから国際的な枠組み造りへ～」
- ・岡崎 秀紀 氏「能海寛と仏蹟復興運動のセイロン人 A.ダルマパーラ～インド仏蹟復興運動、出会い、ダルマパーラの日記、南方仏教と関わった人たち～」
- ・中 政信 氏「佐々田懋は和紙の分野に何を残したか」
- ・市民研究員による政策提言について意見交換：浜田市瀬戸ヶ島埋立地活用事業、浜田城周辺整備事業など。

6. 出席者・参加人数

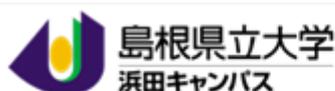
40名程度（島根県立大学教職員 10名、大学院生 10名、市民研究員 20名、その他若干名）

7. 参加方法・参加費

企画調整室にお問い合わせください。研究会への参加は無料ですが、餅つき会（試食あり）参加者には当日カンパ（1,000円程度）を頂戴しております。

8. これまでの経緯・今回の特徴

例年1月末に実施する第2回全体会は、市民研究員の方々の日頃の研究や勉強会の成果を報告する機会となっています。また、全体会に先立ち、午前中は本学の留学生を交えて餅つき会をおこない、日本の伝統文化の紹介・継承の場としても恒例行事となっています。



JENESYS 2015 日本大学生訪問団について
(Japan-East Asia Network of Exchange for Students and Youths)

外務省は、日本とアジア太平洋地域との間で、将来各界で活躍が期待される若者を招聘・派遣し、日本の文化・社会・歴史・政治を含め各分野に関する理解促進を図りながら、世界の方々と相互理解を促進するため「JENESYS2015」を展開しています。

「JENESYS2015」の一環として、日韓両国の大学生を対象とした相互派遣を行っており、平成 28 年 3 月に日本大学生が韓国を訪問します。

この度、この日本大学生韓国訪問団（第 2 団）として、本学学生が選出されました。選出された第 2 団の中において、短期大学出身者は本学のみであり、また、本学から日本大学生韓国訪問団に選出されるもの初めてです。

1 主催者

公益財団法人日韓文化交流基金（外務省からの委託）

2 訪問日時

第 2 団 平成 28 年 3 月 15 日（火）～3 月 24 日（木）（事前研修会 3 月 14 日）
（第 1 団 平成 28 年 3 月 1 日（火）～3 月 10 日（木）（事前研修会 3 月 1 日））

3 参加者

第 2 団員 18 名（男性 4 名、女性 14 名）

4 本学からの参加者

島根県立大学短期大学部松江キャンパス

総合文化学科 1 年 ^{たかばた}高畑 ^{まゆこ}真侑子さん

5 交流内容

ソウルと地方都市訪問、大学訪問、ホームステイ、韓国文化体験、各種視察等

6 その他

応募者 557 名（うち合格者 36 名）



2015(平成27)年度

日本大学生韓国訪問団 参加者募集

公益財団法人日韓文化交流基金と大韓民国教育部国立国際教育院は、毎年、日韓両国の大学生を対象とした相互派遣を行っており、2015年度の日本大学生韓国訪問は来年3月に実施する予定です。韓国を訪問する参加者の皆さんは、日本の大学生代表として韓国の歴史や社会をはじめ様々な文化を学び、同時に日本の各分野についての魅力はもちろん、より深い相互理解促進につながるような情報発信を積極的にしていただきます。日本と韓国との未来に向けた友好・協力関係を築くことを目指す本事業に参加して下さる大学生の皆さんを広く募集いたします。たくさんのご応募をお待ちしています。

本事業は JENESYS²⁰¹⁵ の一環として実施されます

「JENESYS 2015」とは、日本とアジア太平洋地域との間で、将来各界で活躍が期待される若者を招聘・派遣し、日本の文化・社会・歴史・政治を含め各分野に関する理解促進を図りながら、世界の方々と相互理解を促進する事業です。

概要

- 期間 → 次の通り2回にわたって実施します
＜第1回＞事前研修会 2016年2月29日〔月〕
訪韓期間：3月1日〔火〕～3月10日〔木〕
＜第2回＞事前研修会 2016年3月14日〔月〕
訪韓期間：3月15日〔火〕～3月24日〔木〕
- 募集人数 → 各団18名、計36名
- 日程内容 → ソウルと地方都市訪問、大学訪問、ホームステイ、韓国文化体験、各種視察等
- 応募資格
① 日本国籍もしくは日本の永住権を有し、日本の短期大学、四年制大学及び六年制大学の学部在籍している方（大学院生は対象といたしません）
② 韓国に継続して1か月以上滞在した経験がない方
③ 訪韓時に満30歳以下の方 ほか
- 経費負担
基本的に、訪韓前日実施の事前研修会場（都内）から最終日に帰国する空港（未定）までの交通費・宿泊費・食費は実施機関にて負担します。
- 応募方法
当基金ホームページ応募フォーム上で必要事項をウェブ入力し、テーマ：「日本大学生韓国訪問団で交流する韓国の皆さんに伝えたいこと」のエッセイ（1200字以内、指定フォーム）を当基金まで送付して下さい。書類選考を経て採用者を決定します。
- 募集締切 → 2015年11月30日〔月〕当日消印有効
※ 応募される前に、必ず応募資格・応募方法等詳細を当基金ホームページでご確認ください。



<http://www.jkcf.or.jp>

実施及び問い合わせ

公益財団法人日韓文化交流基金 日本大学生訪問団担当

E-mail haken@jkcf.or.jp TEL 03-5472-4323 (代表) FAX 03-5472-4326

● イラストについて：明るい未来へ鳥がまっすぐに飛ぶ姿を表現しています。背中に乗っている2人は、日韓の青少年を表しており、外側の手には希望の花を持ち、内側では胸を組んでいます。鳥の翼に生えた3つのアンテナの光は、「友情」「信頼」「未来」を意味します。そして、上で微笑みながら輝く太陽は、両国の平和の象徴でもあります。